

こうぐち

練馬区議会議員

# 高口 ようこ

## プロフィール

1980年、桜台生まれ／小竹町にて2児の子育て中／開進第三小・中、都立大泉高校、慶應義塾大学文学部卒／編集会社勤務後、フリーのライターに／地域活動を多数主宰／夫をがんで亡くし、在宅医療や介護を経験／保育士資格取得

こどもと、  
未来のこと。

かわら版  
vol.3 号外  
@江古田

市民の声  
ねりま



## 統廃合の変更案！旭丘小中のみでの一貫校開設へ？

### 対応方針案の変更案、中身が問題！

小竹小をなくし、旭丘小・中の位置に、施設一体型小中一貫教育校を作る……区はこの対応方針案を、2016年に発表。しかし地域の反対が根強く、2018年の「練馬区公共施設等総合管理計画」で、2022年まで「調整」に留まっていた……それがこれまでの、統廃合の状況です。そんな中、8月30日の文教青少年委員会にて、区が変更案を出してきました。

- ①先行して、旭丘小と旭丘中のみで、新たな小中一貫教育校の設置準備を開始
- ②新校の小学校の学区域は、旭丘小のみ
- ③将来的に、小竹小を廃校にする  
対応方針案は変えない
- ④今秋、地域説明会を開催
- ⑤対応方針策定後、準備会を設置

### 小竹小が残る、大きな一歩！

この対応方針案変更のポイントは、3点です。

- ①小中一貫校の開設は、小竹小の統廃合を前提としない（小竹小の学区域を残すとしているので）
- ②旭丘小・中の小中一貫校の開設は、改築後の方向
- ③改築には、最低でも7～8年＝約10年かかる  
……つまり、小中一貫校開設後も、小竹小が残る可能性が生まれました。地域が求め続けている、小竹小存続の大きな一歩です！ 高口もずっと、「地域の声を大切に」と訴えてきました。地域の思いを受け止めたという意味では、この変更案は、大きな意味を持つと言えます。

### 小竹小の改築は明確にされず…

しかし区は、あくまで対応方針案は変えない=小竹小はいずれ廃校にするとの姿勢のまま。区内で最も古く、築60年が迫る小竹小。もし、新校開設まで待っていたら、築70年!? 今年度、学校施設の改築等を決める「実施計画」が策定されます。この期間が10年間。今回の実施計画に小竹小の改築が書かれず、次にまわされたら、築80年!!?

区の基準は、「築60年」です。しかも、建物が長寿命化できるかどうかの検査もしていないのです。

避難拠点でもあるのに…  
はやく改築しないと！

▶一般質問や委員会、議会の様々な場面で、統廃合問題に、正面から切り込んでいます！

### 変更案の理由が、あいまいすぎる！

区は今回の対応方針案変更の理由を、こう説明しています。

- ①2014年度の旭丘小の入学者数の激減（17名）を見て、小中一貫校設置の対応方針案を決定
- ②しかし今回、2021年度までの児童数推計が増加しているので、今すぐ統廃合するのはやめた
- ③中長期的に少子化は必至なので、小竹小廃校は変えない  
……しかし、将来の人口推計は、あくまで練馬区全域。旭丘のみ、小竹のみの将来推計は存在しません。全区的な傾向なら、練馬区すべての学校に公平に当たはめるべきで、江古田地域だけの統廃合の理由にはなりません。

何より、小竹小の改築は待ったなし！ いざというときの避難拠点でもあるのです。必要なのは、「中長期的な視点」ではありません。小竹小の改築をしっかり進める……それが、子どもと地域住民のいのちを守る、教育行政の責任です！



### 複合化＆多目的化で少子化に備える！

将来的な少子化は、確かに予測されています。しかし、施設の複合化や多目的化を進めておけば、将来的に、別の施設に移行が可能。また、速報の都の推計では、旭丘中は193人、旭丘小は204人、小竹小は421人まで増加！ 子どもはどんどん増えており、今廃校を決めておく必要がありません。

何より、地域の学校は、地域が守るもの。地域の声を大切にしてこそ、いい学校ができあがります。今回の対応方針変更案に加え、小竹小を残す。それが、2年間動かなかった統廃合問題を解決し、地域を平和にするベストな解決策です！

### 高口の提案！

- ①旭丘小と旭丘中で、小中一貫教育校を設置
- ②小竹小の早期改築を、「実施計画」に書き込む
- ③複合化、多目的化を前提に設計

# 小竹向原駅エレベーター、設置へ前進!!

## 候補地は4か所!

エレベーターがなく、のぼりエスカレーターも途中まで……。積年の課題だった、小竹向原駅1~2番出口のエレベーター問題。高口自身も小竹町に住み、車いすやベビーカーを押しながら、「ここにエレベーターを」と何度も思つたことでしょうか。そのエレベーターが、設置に向け、ついについに、動き出しました！

9月の議会で、エレベーター設置を求める、小竹町会＆羽沢町会からの陳情が採択。すでに、東京メトロと区の協議が進んでおり、設置の候補地が4か所、示されています（右図）。

3か所は1番出口側で、2番出口の候補地は1か所のみ。うち1か所は、東京メトロの敷地内です（車掌・運転事務室）。東京メトロとしては、ここが一番作りやすいわけですが……。2番出口利用者にとって、最も不便な位置となります。

## どの位置に設置されるかがポイント！

東京メトロの敷地以外の3か所は、都有地です。民有地に比べれば、設置のハードルは低く、十分に設置が可能な位置。市民の声ねりまとしても、練馬側に便利な位置にエレベーターを設置するよう、しっかりと議会で要望しました。

## information

### ようこそカフェ

毎月第4曜日13~15時

気楽におしゃべりしながら、お困りごとや、地域の課題を聞かせていただく場。福祉、医療、障がい、子育てなど、様々なテーマを語り合います。お茶菓子をご用意し、お待ちしています♪  
【場所】高口ようこ事務所  
\*桜台駅北口より徒歩4分  
【茶菓子代】100円(子ども無料)  
【お申込】直接お越しください



### 市民の声ねりま区政報告会

11月25日(日)17:30~

市民の声ねりまの区議3人(池尻成二、岩瀬たけし、高口ようこ)による合同区政報告会。練馬唯一のローカルパーティ(地域政党)を、応援してください！

【場所】石神井公園区民交流センター(石神井町2-14-1)

### 無料法律相談会

11月4日(日)15時~

弁護士と区議が相談にのります。高口ようこ事務所にて。

【お問合せ・お申込み】電話かメールにて

▶緑色の四角が候補地を示しています



### あなたの声を届けよう！

地域の区議に  
思いをお聞かせ  
ください！

設置に向けて動いている今が、声をあげるチャンス！ どの場所に、設置を希望しますか？ 自分のまちを住みやすくするのは、あなた自身の声なのです！



### 障がいを考える会

11月4日(日)10~12時

特別支援学校(中学校)の元教員、放課後デイサービスの職員、生活支援員という専門家を囲んでの座談会です。障がいが障がいでなくなるために、できることは？ インクルーシブを実現するには…？ 子どもの環境を考えます。

【場所】桜台地区区民館・大広間(桜台3-39-17)

【講師代】200円(高校生以下無料)

【お問合せ・お申込み】お電話かメールにて

### こども憲法カフェ

11月18日(日)14~16時

私たちの暮らしを支える、たいせつなけんぼう！ 子どもたちにわかりやすく伝えながら、いっしょに考えます。

【講師】伊藤朝日太郎(明日の自由を守る若手弁護士の会)

【場所】桜台地区区民館・大広間(桜台3-39-17)

【講師代】200円(高校生以下無料)

【お問合せ・お申込み】電話かメールにて

### PTAを考えよう！

10月27日(土)10~12時

PTAを取り巻く様々な問題。PTA本来の意義に立ち返りながら、PTAについて考える「PTAカフェ」です。

【場所】高口ようこ事務所

【お問合せ・お申込み】電話かメールにて(当日でもOK)

こうぐち  
高口ようこ かわら版  
vol.3 @江古田号外！

こうぐち  
発行：市民の声ねりま 高口ようこ

こうぐち  
高口ようこ事務所(市民の声ねりま)  
〒176-0002 練馬区桜台2-40-6-103  
TEL & FAX 03-6915-8535  
Email info@koguchiyoko.net  
Web koguchiyoko.net

池尻成二 ikejiriseiji.jp 岩瀬たけし iwasetakeshi.net

あなたの力が  
未来を変える

ソポーター募集！

